



エアウェイスコープの 現状と未来

マッキントッシュ喉頭鏡は今や無用の長物か？



演者

浅井 隆先生

関西医科大学麻酔科学講座講師

マッキントッシュ喉頭鏡を用いた気管挿管は、1940年代からこれまでの70年、スタンダード手技として広く普及してきました。近年、モニターで確認しながら口腔・咽頭の彎曲に合わせて挿管するエアウェイスコープが開発されました。今回、エアウェイスコープ型のビデオ喉頭鏡の出現により、スニッフイング位にしてマッキントッシュ喉頭鏡で気管挿管という長い歴史から、新たな気道確保の時代に入ったのかどうかを検証します。

PENTAX

エアウェイスコープ[®] AWS-S100

ビデオ硬性挿管用喉頭鏡



IMI
アイ・エム・アイ株式会社

教育セミナー E5

日時 2009年 **10月30日**(金)
17:30～18:30

会場 **グランドホテル浜松 孔雀**

座長 **奥田 泰久先生**
獨協医科大学越谷病院麻酔科教授

共催 日本臨床麻酔学会 第29回大会
HOYA 株式会社
アイ・エム・アイ株式会社

